

リサイクル「サンドウエーブG」 ガラス造粒砂

トーエイ(東浦町)



路床材に使用するガラス造粒砂を敷きならす(東浦町役場駐車場透水性舗装工事)

環境に配慮し“3R”を促進

総合廃棄物処理業のトーエイ(知多郡

東浦町藤江字ヤンチャ28ノ1)は、リサイクルガラス造粒砂「サンドウエーブG」を使用し舗装工事の路床材や地盤改良工事のパイル砂への使用普及を積極的に進めている。

一昨年、東浦町役場駐車場への透水性舗装工事で路床材に使用。昨年7～9月に豊田高専の研究室と共同で表面温度、気温などを検証した

結果、同庁舎敷地内で同製品を使用していない部分に比べ、5度ほど表面温度が低くなっているなどヒートアイランド現象による温暖化防止にも効果があることなどが実証された。

そうした実績から「環境に配慮した駐車場」として、愛知県内にある金融機関の駐車場で透水性舗装工事の際の路床材に採用されるなど評判も高い。

今後も「もったいない、自治体が困っている、環境負荷・コスト軽減、中圏の環境維持、限定用途とならない用途開発」をモットーに、中圏における3R(リユース・リデュース・リサイクル)の促進を目指す。